

2022年4月4日

## 「映画と暮らすまち、太秦」<sup>かたびらのつじ</sup> 嵐電 帷子ノ辻駅でパネル展示スタート

京福電気鉄道株式会社(本社:京都市中京区、社長:大塚憲郎)は、嵐電(京福電気鉄道嵐山本線・北野線)の帷子ノ辻駅地階スペースに、京都と映画の深いつながりを紹介する常設のパネル展示「映画と暮らすまち、太秦～懐かしの京都ロケ地パネル展～」を2022年4月2日(土)からスタートしました。

このパネルは、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、株式会社東映京都スタジオ、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、京都バス株式会社、大映通り商店街振興組合、弊社が、映画をテーマとした太秦エリアの活性化実証実験「太秦 Live プロジェクト」として、2021年12月11日(土)～2022年2月13日(日)の期間に開催したイベント「映画と暮らすまち、太秦」の一環で、JR京都駅ビル2階インフォメーション前に展示したパネルを、ほぼ原形に近い形で再現したものです。京都で撮影された名作や多数あった撮影所に関する貴重な写真や解説が掲載されたパネルを、一過性のイベントで終わらせるのではなく、映画のまち太秦の玄関口の駅である帷子ノ辻駅に常設し、さらに多くの人々に京都と映画とのつながりを知っていただくきっかけにしていきたいと考えています。



帷子ノ辻駅地階スペースに設置した展示パネル(4月1日撮影)

嵐電北野線は、東京の映画関係者が京都に拠点を移す契機となった関東大震災の2年後、1925年に開業しました。当時、北野線沿線には広い土地があり、また現在ほど普及していなかった電力が、電車を運行させるためこの地域に安定的に供給されたことから、撮影所設置の好適地として、沿線に多くの撮影所が開設されました。

こうした、古くからの嵐電と映画の縁をふまえ、弊社では昨年3月31日(水)に「映画のまちの駄菓子売り場 映菓座(えいがざ)」を帷子ノ辻駅ビル2階にオープン。本年2月8日(火)には、今回パネルを設置した帷子ノ辻駅地階スペースを株式会社松竹撮影所のデザイン監修により改装し、帷子ノ辻駅と隣接する駅ビルで、映画のセットをイメージした「映画のまち」のコンセプトに合致した空間づくりを進めてきました。

今後とも地域の皆さま、関係事業者の皆さまと連携し、映画・映像をテーマとする太秦地域の活性化や、持続可能な観光スタイルの構築に向け、取り組んでいきます。

<映画と暮らすまち、太秦～懐かしの京都ロケ地パネル展～>

設置場所 嵐電(京福電気鉄道嵐山本線・北野線) 帷子ノ辻駅 地階スペース

設置物 ①解説パネル1枚(縦約1m・横約2m)、②地図パネル1枚(縦横約1m)、タイトルパネル等

展示内容 ①解説パネル

京都の映画産業の歴史を、撮影所や撮影風景などの貴重な写真19点を使用し紹介。  
写真の多くは東映株式会社の提供です。

②地図パネル

解説パネルで紹介した写真を含む、京都府内の映画ゆかりの地を地図と解説で紹介。

(展示写真の一例)



京都市右京区の広沢池での撮影風景



日活太秦撮影所(1900年頃)

以上

(ご参考)

## 【帷子ノ辻駅】

所在地 京都市右京区太秦帷子ヶ辻町 30-3

### 概要

- 1910年3月25日 開業(嵐山電車軌道株式会社)
- 1973年3月21日 「京福帷子ノ辻駅ビル」開業
- 2011年3月22日 改札地上化(構内踏切)工事竣工
- 2021年5月20日 バリアフリー対応工事竣工
- 乗降人員 年間約65万人



帷子ノ辻駅



2022年2月8日(火)に改装した地階スペース  
コンセプトは「映画のセットをイメージさせるレトロな昭和の駅」

## 【映画のまちの駄菓子売り場 映菓座】

2021年3月31日(水)、京福帷子ノ辻駅ビルのショッピングゾーン「ランデンプラザ帷子」2階にオープンした、弊社直営の駄菓子販売店舗。

店舗名:映画のまちの駄菓子売り場 映菓座(えいがざ)  
所在地:京都市右京区太秦帷子ヶ辻町 30-3 京福帷子ノ辻駅ビル「ランデンプラザ帷子」2階  
店舗面積:191.87㎡(58.04坪)  
販売商品:菓子類、玩具など  
営業時間:11:00~18:00  
(年末年始などは変更の場合があります)  
電話番号:075-873-1201



映画のまちの駄菓子売り場 映菓座

## 【太秦 Live プロジェクト】

2021年12月11日(土)~2022年2月13日(日)の期間、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、株式会社東映京都スタジオ、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、京都バス株式会社、大映通り商店街振興組合と弊社が、「映画と暮らすまち、太秦」をテーマに、太秦エリアの活性化と継続的な観光振興のコンテンツ開発を目的として実施した実験事業。

嵐電のエンターテインメント電車「ザ・ライド KYOTO」や、JR 嵯峨野線ラッピング列車の特別運行、東映太秦映画村や撮影所見学などが体験できるモニターツアー、映画上映会、スタンプラリーなどを実施しました。